

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和4年7月31日

(前回公表年月日：令和3年10月1日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																				
東京ビューティー アート専門学校		平成11年12月10日	菅井 健治		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目37番8号 (電話) 03-5805-1251																				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																				
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日	昼間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151																				
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																			
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科			平成14年文部科学省 告示第84号	—																			
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																								
認定年月日	平成28年2月19日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年	昼間	62	122	145	14	0	13																	
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
260人		223人	6人	14人	26人	40人																			
学期制度	■前期 4月1日～9月30日まで ■後期 10月1日～3月31日まで			成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスに定められた基準に基づき、100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 ■評価の方法： 試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行う。																				
	■夏季：7月下旬～8月下旬までの約1カ月 ■冬季：12月下旬～1月上旬までの約2週間 ■学年末：3月上旬～4月上旬までの約1カ月				卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。 進級要件： なし																				
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 担任等による定期的な個別面談、状況によりカウンセラーによる面談も実施。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 部活動の他、姉妹校や関連業界へのイベント参加など ■サークル活動： 有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) メイク・ネイル・エステティック・モデル業界 ■就職指導内容 担任、及び企業担当者双方よりクラス単位での指導に加え、履歴書指導、求人票の閲覧の仕方から模擬面接指導まで、生徒が希望する職種・業界に合わせて個別指導の実施。			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)																				
	■卒業者数 ： 78 人 ■就職希望者数 65 人 ■就職者数 63 人 ■就職率 97 % ■卒業者に占める就職者の割合 ： 81 % ■その他 ・進学者数： 5人 ・結婚、その他分野就職など： 10人 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)				<table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>サービス接遇検定</td><td>③</td><td>78人</td><td>68人</td></tr><tr><td>パーソナルカラーコーディネート検定</td><td>③</td><td>78人</td><td>71人</td></tr><tr><td>トータルメイクアップ検定 ベーシック</td><td>③</td><td>78人</td><td>73人</td></tr><tr><td>JNECネイル技能検定</td><td>③</td><td>76人</td><td>70人</td></tr></tbody></table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サービス接遇検定	③	78人	68人	パーソナルカラーコーディネート検定	③	78人	71人	トータルメイクアップ検定 ベーシック	③	78人	73人	JNECネイル技能検定	③
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
サービス接遇検定	③	78人	68人																						
パーソナルカラーコーディネート検定	③	78人	71人																						
トータルメイクアップ検定 ベーシック	③	78人	73人																						
JNECネイル技能検定	③	76人	70人																						

中途退学の現状	■中途退学者 33名 ■中退率 15% 令和3年4月1日時点において、在学者214名（令和3年4月1日入学者を含む） 令和4年3月31日時点において、在学者181名（令和4年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、精神疾患、目的喪失、経済的理由など
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任制の配置と、学年主任制による全体指導の実施。また精神的な問題を抱える生徒に対しての心理アドバイザーによるフォローなどを実施。
経済的	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生入学制度 ■専門実践教育訓練給付： 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： 受審年月： 評価結果を掲載したホームページURL
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/couse/total/

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
- （3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1) カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2) 各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3) 教科書・教材の選定に関する事項
- (4) その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会（別紙組織図：各専門委員会）にて提案される。提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 美穂里	NPO法人日本ネイリスト協会理事	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日（2年）	①
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャパン株式会社 営業本部マネージャー	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日（2年）	③
山本 雄士	株式会社セントラヴィ 副社長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日（2年）	③
木村 香奈子	東京ビューティーアート専門学校 副校長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日（2年）	—
島田 美穂子	東京ビューティーアート専門学校 副校長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日（2年）	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること

（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。）

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（7月、12月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和3年7月6日 14:00～15:00

第2回 令和3年12月21日 13:00～14:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

◆コロナ禍におけるコミュニケーション力低下やPCスキル向上やリテラシー理解の強化を図ってほしい。

⇒対応：サロンワーク及びSNS・フォトスキル授業でのシラバスを見直し、より現状に即した内容への変更を検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 連携企業先より、教員を派遣いただき、美容業界に必要な手技や接客マナー等を習得する。また、評価については、授業内でのテストや提出物などの評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。化粧品概論、ネイル、メイク、ヘアケア化粧品、フレグランス、ボディ化粧品等に用いられる薬剤とその働きなどを学ぶ。	タカラベルmont株式会社
化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。化粧品概論、ネイル、メイク、ヘアケア化粧品、フレグランス、ボディ化粧品等に用いられる薬剤とその働きなどを学ぶ。	タカラベルmont株式会社
サロンワークⅠ-D	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、エステサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理に加え「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。	日本エステティック協会
サロンワークⅠ-E	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	タカラベルmont株式会社
サロンワークⅠ-F	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	株式会社ライフビューティー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針	
<p>※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記</p> <p>実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修 	
(2) 研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 美容業界の今、自分にあったサロンの見つけ方	連携企業等： 株式会社リクルートライフスタイル
期間： 令和3年8月20日(金)	対象： 教員(20名)
内容 現在の美容業界の動向を知ることによって業界で求められる人材を育成する。また、就職指導においては学生とサロンのマッチングが大切になるため、サロンの選び方を知ることによって的確な指導に役立つ。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 発達障害について	東海大学 連携企業等： 課程資格教育センター 教育学研究室
期間： 令和3年8月28日(土)	対象： 全教職員(84名)
内容 発達障害(ASD,ADHD,ADD)に対する知識を深め、学生指導に活かす。	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 未来の美容教育	連携企業等： 株式会社iii(スリー)
期間： 令和4年8月19日(金)	対象： 教職員(24名)
内容 今後の美容業界の動きを見据えて、学校及び教員としての在り方を学び、業界のニーズに合わせたICT教育を取り入れた教育の活かし方と指導方法について。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： ウィズコロナ時代における専門学校教育のあり方	連携企業等： 佛教大学・教育学部
期間： 令和4年8月26日(金)	対象： 全教職員(85名)
内容 コロナ禍における生徒の変化と傾向の解説と指導方法について。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

◆インターンシップの実施を受け入れるにあたり企業側としては、条件や目的などを明確に提示してもらうことで受け入れがスムーズになる。

⇒対応：学生・企業にとっても有意義なインターンシップにしていけるため詳細に内容を詰めて提示していくとともに現場で活躍が出来る接客スキルを身に付けるため、各授業において指導を強化していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
平井 宏子	SANKO日本語学校 綾瀬校 教務主任	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	教育に知見を有する者
佐々木 護	飛鳥未来きずな高等学校お茶の水キャンパス キャンパス長	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	教育に知見を有する者
伊藤 隆充	CYANDELUCCA 代表	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
石井 真琴	卒業生	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	卒業生
安部 一実	VINGT NAIL ディレクター	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
五月女 瞳	PERSONAL BODYCARESALON LEA 代表	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ())

URL : <https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/disclosure/kankeisya2022.pdf>

公表時期 : 令和4年8月24日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL：<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/tokyo-beauty.pdf?data=0627>

公表時期： 令和4年8月24日

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティーク) 令和4年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○			サロンマナーⅠ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1 年前	30	2	○			○	○			
	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付け、パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。色に関する様々な知識を身に付ける。	1 年前	30	2	○			○	○			
	○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1 年前	15	1	○			○	○			
			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する。	1 年前	30	2	○			○	○			
			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1 年前	30	2	○			○	○			
			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1 年前	30	2	○			○	○			
			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1 年前	15	1	○			○	○			
			○	化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1 年前	15	1	○			○	○			○
			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1 年前	15	1	○			○	○			
			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1 年前	60	2		○		○	○			
			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる。	1 年前	60	2		○		○	○			

12		○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。	1年前	60	2		○		○		○				
13		○	就職対策Ⅰ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける。	1年前	15	1		○		○		○				
14		○	モデル入門	モデルに必要なことを学ぶ。 (基本姿勢・歩き方・ルールやマナー・業界知識)	1年前	30	1		○		○				○		
15	○		カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1年後	30	2		○				○		○		
16	○		未来デザインプログラムⅡ	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する。	1年後	15	1		○				○		○		
17		○	就職対策Ⅱ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける。	1年後	15	1		○				○		○		
18		○	サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年後	15	1		○				○		○		
19		○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1年後	15	1		○				○		○		
20		○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きやしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1年後	30	2		○				○		○		
21		○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1年後	30	2		○				○		○		
22		○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年後	15	1		○				○		○		
23		○	化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年後	15	1		○				○		○		○
24		○	ベーシックネイルⅡ	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA2級課題である爪の補修・補強を学ぶ。	1年後	30	1		○				○		○		
25		○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1年後	30	1		○				○		○		

26		○	ビューティー カウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客における言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	1 年後	30	2	○		○	○							
27		○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。	1 年後	45	3	○		○	○							
28		○	ヘアアレンジ Ⅰ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出せるようになる。	1 年後	60	2		○	○	○							
29		○	パーソナルメ イク	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップができるようになる。	1 年後	45	1		○	○	○							
30		○	ベーシックメ イクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1 年後	30	1		○	○	○							
31		○	エステティッ クカウンセリ ングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 年後	15	1		○	○	○							
32		○	エステティッ ク概論・衛生学・ 関係法規Ⅱ	エステティクの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティクに関わる法律、自主基準を理解する。	1 年後	15	1		○	○	○							
33		○	プロフェイ シャルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1 年後	60	2		○	○	○							
34		○	プロボディⅠ	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1 年後	60	2		○	○	○							
35		○	アロマテラ ピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識・トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用・健康学を学ぶ。	1 年後	30	2		○	○	○							
36		○	アロマテラ ピーⅠ-G	アロマセラピーの基礎知識・トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用・健康学を学ぶ。	1 年後	15	1		○	○	○							
37		○	サロンワーク Ⅰ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	1 年後	45	1			○	○	○	○					
38		○	スカルプチュ ア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術ができる。	1 年後	45	1		○	○	○							
39		○	ネイルケア& ネイルアート Ⅰ-F	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート(フラット)を描くことができる。	1 年後	45	2		○	○	○							

40		○ 検定対策Ⅰ	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる。	1 年後	45	3	○			○							
41		○ ジェルネイルⅠ	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来るようにする。	1 年後	45	1	○			○							
42		○ コンテストⅠ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	1 年後	15	1	○			○							
43		○ パーソナルコーディネートⅠ	外見を創り上げる基本要素を押さえパーソナルカラー、色彩心理、TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。	1 年後	30	2	○			○							
44		○ ヘア&メイク	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。頭部の骨格を知り髪の毛の扱い方からヘアアレンジまでを習得し、実践していく。	1 年後	60	2	○			○							
45		○ 着付けⅠ-H	着付に関する知識・基礎技術を身につける。	1 年後	30	1	○			○							
46		○ 栄養管理Ⅰ	健康的で美しい体を目指すために正しい知識を身に付け、今後のボディメイクに役立てる。	1 年後	15	1	○			○							
47		○ ウォーキングⅠ	モデルとしての意識を持ち、今の自分(体型や個性)を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。	1 年後	30	1	○			○							
48		○ ポージングⅠ	モデルとは何か何を使えなくてはならないのかモデルとしての基礎・基本を理解してもらう。	1 年後	30	1	○			○							
49		○ ボディエクササイズⅠ	自宅でできるエクササイズをやり方、正しいフォーム等を覚え生活の中で身体を動かす習慣付けをする。	1 年後	30	1	○			○							
50		○ セルフプロデュースⅠ	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。	1 年後	30	1	○			○							
51		○ ボイストレーニングⅠ	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる。	1 年後	30	1	○			○							
52		○ 演技Ⅰ	脚本において、自分の周りの状況を把握し、役作りをして、役の感情を相手に伝えられる様にする。	1 年後	30	1	○			○							
53		○ 撮影Ⅰ	撮影の基本姿勢を考え、ポージングを作れる意識づくりをできるようにする。自分をアピールする長所と短所を理解し、独自のコンポジットブック作成の方法論を考える。	1 年後	30	1	○			○							

54			メンタリ ティーメイキ ングⅠ	モデル（芸能界）に向けての意識改革と揺る がない精神の土台をつくる。	1 年後	15	1	○			○		○				
55			フェイシャル & ボディⅠ	エステティック機器の使用法・注意事項・ 禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったト リートメントを理解する。	1 年後	45	1		○		○		○				
56			ネイルアート Ⅰ	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサ ロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、 アートでの色使いや筆の使い方を習得する。	1 年後	30	1		○		○		○				
57			ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJEC2級 検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深く ネイルケアの大切さを理解する。	1 年後	30	1		○		○		○				
58			パーソナルヘ ア&メイクⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現 場での基礎技術を出来る様にする。	1 年後	30	1		○		○		○				
59			検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせた メイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1 年後	30	2		○		○		○				
60			スマホフォト 技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りの テクニックを身に付ける	1 年後	15	1		○		○		○				
61			自己プロ デュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働き かけ自らの美と健康を維持促進する。	1 年後	15	1		○		○						○
62			パーソナルス タイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・ 理論を習得する	1 年後	15	1		○		○						○
63			ビュー ティー・フー ド	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事 法を理解する	1 年後	15	1		○		○		○				
64			施設実習	美容業の現場で求められる資質や運営方法を 具体的に理解する。	2 年前	80	2				○		○		○		
65			就職対策Ⅲ	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛され る存在になっている。また、人間力が構築されて、 社会人として自信をもって送り出せる人材に育成す る。	2 年前	15	1		○				○		○		
66			就職対策Ⅳ	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛され る存在になっている。また、人間力が構築されて、 社会人として自信をもって送り出せる人材に育成す る。	2 年後	15	1		○				○		○		
67			着付けⅠ-A	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄 えることにより、今後の接客へ役立てる。	2 年前	30	1		○		○						○

82	○	サロンワーク I-E	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年前	60	2			○	○	○	○
83	○	サロンワーク II-E	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年後	60	2			○	○	○	○
84	○	サロンワーク I-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年前	60	2			○	○	○	○
85	○	サロンワーク II-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年後	60	2			○	○	○	○
86	○	エステティックカウンセリングII	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年前	30	2	○		○	○		
87	○	エステティックカウンセリングIII	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年後	30	2	○		○	○		
88	○	サロントリートメントI	エステティシャンとしての接客マナーを実践的に学び、さまざまな技術を安全に行うことができるスキルを身につける。	2年前	45	2		○	○	○		
89	○	サロントリートメントII	エステティシャンとしての接客マナーを実践的に学び、さまざまな技術を安全に行うことができるスキルを身につける。	2年後	45	2		○	○	○		
90	○	エステティック総論I-A	エステティック知識総合（資格試験対応）に向けての救急法や電気理論、肌疾患などの基礎知識を学び、検定対策を行う。	2年前	60	4	○		○	○		
91	○	エステティック総論II-A	シデスコ筆記試験に向けての運動生理学や自然科学、最新美容などの応用的な知識を学び、検定対策を行う。	2年後	60	4	○		○	○		
92	○	フェイシャルマニピュレーションI	ベーシックエステ・プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術・知識を深め、マッサージ・クレンジング・メイクなどのスキルアップを目指す。	2年前	45	2		○	○	○		
93	○	フェイシャルマニピュレーションII	ベーシックエステ・プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術・知識を深め、マッサージ・クレンジング・メイクなどのスキルアップを目指す。	2年後	45	2		○	○	○		
94	○	フェイシャルスキンケアI	フェイシャル電気機器を使用し、ベーシックエステ・プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年前	45	1		○	○	○		

95		○	フェイシャル スキンケアⅡ	肌別・トラブル別の選択を含め、皮膚生理学・化粧品学・機器などを中心に総合実技試験に向けての対策を実施する。	2 年後	60	2		○		○		○				
96		○	ボディベー シックⅠ	ボディ分析・スエディッシュマッサージ練習・脱毛などを中心にAEA上級エステティシヤンの試験対策を行う。	2 年前	45	2		○		○		○				
97		○	ボディベー シックⅡ	ボディ分析・スエディッシュマッサージ練習・脱毛などを中心にAEA上級エステティシヤンの試験対策を行う。	2 年後	45	2		○		○		○				
98		○	ボディテクニ カルⅠ	応用トリートメント（資格試験対応）ベーシックエステ・プロボディで学んだハンドテクニック技術・知識を深める。	2 年前	45	1		○		○		○				
99		○	ボディテクニ カルⅡ	ボディ電気機器の実践的な使用方法を含め、クライアントに応じた機器の選択などを総合的に学ぶ。	2 年後	60	2		○		○		○				
100		○	プロボディⅡ	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニングを中心に、AEA上級エステティシヤン試験対策を行う。	2 年前	60	2		○		○		○				
101		○	プロボディⅢ	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニングを中心に、AEA上級エステティシヤン試験対策を行う。	2 年後	60	2		○		○		○				
102		○	プロフェイ シャルⅡ-B	接客の基礎実践。ディーブクレンジング復習からフェイシャル化粧品についての知識やフェイシャル電気機器についての技法までを学ぶ。	2 年前	90	4		○		○		○				
103		○	プロフェイ シャルⅢ-B	カウンセリングシートに基づくアドバイスができるようになるレベルを目指し、フェイシャルテクニック総合クライアント実習を組み込み実践的に学ぶ。	2 年後	90	4		○		○		○				
104		○	エステティッ ク総論Ⅰ-B	皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学などを中心にAEA問題集の解説をしながら検定対策を行う。	2 年前	30	2		○		○		○				
105		○	エステティッ ク総論Ⅱ-B	皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学などを中心にAEA問題集の解説をしながら検定対策を行う。	2 年後	30	2		○		○		○				
106		○	プロフェイ シャルⅡ-C	スエディッシュマッサージを中心に、様々なクライアントに対応した適切な知識・技術の習得とスキルアップを目指す。	2 年前	60	2		○		○		○				
107		○	プロフェイ シャルⅢ-C	スエディッシュマッサージを中心に、様々なクライアントに対応した適切な知識・技術の習得とスキルアップを目指す。	2 年後	60	2		○		○		○				

108		○	アロマテラピー総論Ⅰ	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができるレベルの習得を目指す。	2年前	30	2	○			○		○		
109		○	アロマテラピー総論Ⅱ	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができるレベルの習得を目指す。	2年後	30	2	○			○		○		
110		○	エステティック総論Ⅰ-C	カラーセラピーやフラワーレメディなどの科目でオーラソーマやカウンセリング手法を学ぶとともに、ロミロミなどのマッサージの手法の習得をする。	2年前	15	1	○			○		○		
111		○	エステティック総論Ⅱ-C	カラーセラピーやフラワーレメディなどの科目でオーラソーマやカウンセリング手法を学ぶとともに、ロミロミなどのマッサージの手法の習得をする。	2年後	15	1	○			○		○		
112		○	スパセラピーⅠ	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダーなどの科目についてのさまざまな技術を習得する。	2年前	60	3		○		○				○
113		○	スパセラピーⅡ	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダーなどの科目についてのさまざまな技術を習得する。	2年後	60	3		○		○				○
114		○	サロンワークⅡ-F	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2年前	45	1				○	○		○	○
115		○	サロンワークⅢ-F	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2年後	45	1				○	○		○	○
116		○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年前	60	4	○			○		○		
117		○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年後	60	4	○			○		○		
118		○	検定対策&スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。	2年前	60	4	○			○		○		
119		○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。	2年後	60	4	○			○		○		

161		○	フェイシャル & ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2 年 後	60	3		○		○		○					
162		○	ネイルケア& ネイルアート Ⅰ-G	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2 年 前	30	1		○		○		○					
163		○	ネイルケア& ネイルアート Ⅱ-G	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2 年 後	30	1		○		○		○					
164		○	検定対策& ジェルⅠ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2 年 前	30	2		○		○		○					
165		○	検定対策& ジェルⅡ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2 年 後	30	2		○		○		○					
166		○	パーソナルヘ ア&メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2 年 前	30	1		○		○		○					
167		○	パーソナルヘ ア&メイクⅢ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2 年 後	30	1		○		○		○					
168		○	トータルメイ クⅠ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施す時間も意識しながら実践を行う。	2 年 前	30	1		○		○		○					
169		○	トータルメイ クⅡ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施す時間も意識しながら実践を行う。	2 年 後	30	1		○		○		○					
170		○	ヨガ・ピラ ティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2 年 前	30	1		○		○						○	
171		○	ヨガ・ピラ ティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2 年 後	30	1		○		○						○	
172		○	デトックスⅠ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ。	2 年 前	15	1		○		○							○
173		○	デトックスⅡ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ。	2 年 後	15	1		○		○							○
174		○	ダイエット学 Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2 年 前	30	1		○		○							○

175		○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2 年後	30	1			○		○			○	
176		○	インターンシップⅠ-I	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1 年後	45	1			○		○	○		○	
177		○	インターンシップⅠ-II	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1 年後	45	1			○		○	○		○	
178		○	インターンシップⅠ-III	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1 年後	45	1			○		○	○		○	
179		○	インターンシップⅠ-IV	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1 年後	45	1			○		○	○		○	
180		○	インターンシップⅡ-I	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年前	45	1			○		○	○		○	
181		○	インターンシップⅡ-II	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年前	45	1			○		○	○		○	
182		○	インターンシップⅡ-III	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年前	45	1			○		○	○		○	
183		○	インターンシップⅡ-IV	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年前	45	1			○		○	○		○	
184		○	インターンシップⅢ-I	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年後	45	1			○		○	○		○	
185		○	インターンシップⅢ-II	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年後	45	1			○		○	○		○	
186		○	インターンシップⅢ-III	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年後	45	1			○		○	○		○	
187		○	インターンシップⅢ-IV	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2 年後	45	1			○		○	○		○	
合計					187	科目			294 単位 (6875単位時間)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認めら 卒業要件： れた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位数に当該学 科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。</p>	1学年の学期区分	2期

<p>原則として教育課程に定められている順序で履修する。</p> <p>「化粧品学Ⅰ」「化粧品学Ⅱ」「サロンワークⅠ-D」「サロンワークⅡ-D」「サロンワークⅠ-E」「サロンワークⅡ-E」「サロンワークⅠ-F」「サロンワークⅡ-F」「サロンワークⅢ-F」「インターンシップⅠ-Ⅰ~Ⅳ」「インターンシップⅡ-Ⅰ~Ⅳ」「インターンシップⅢ-Ⅰ~Ⅳ」については該当科目を必履修科目としている。</p>	1学期の授業期間	15週
---	----------	-----

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。